

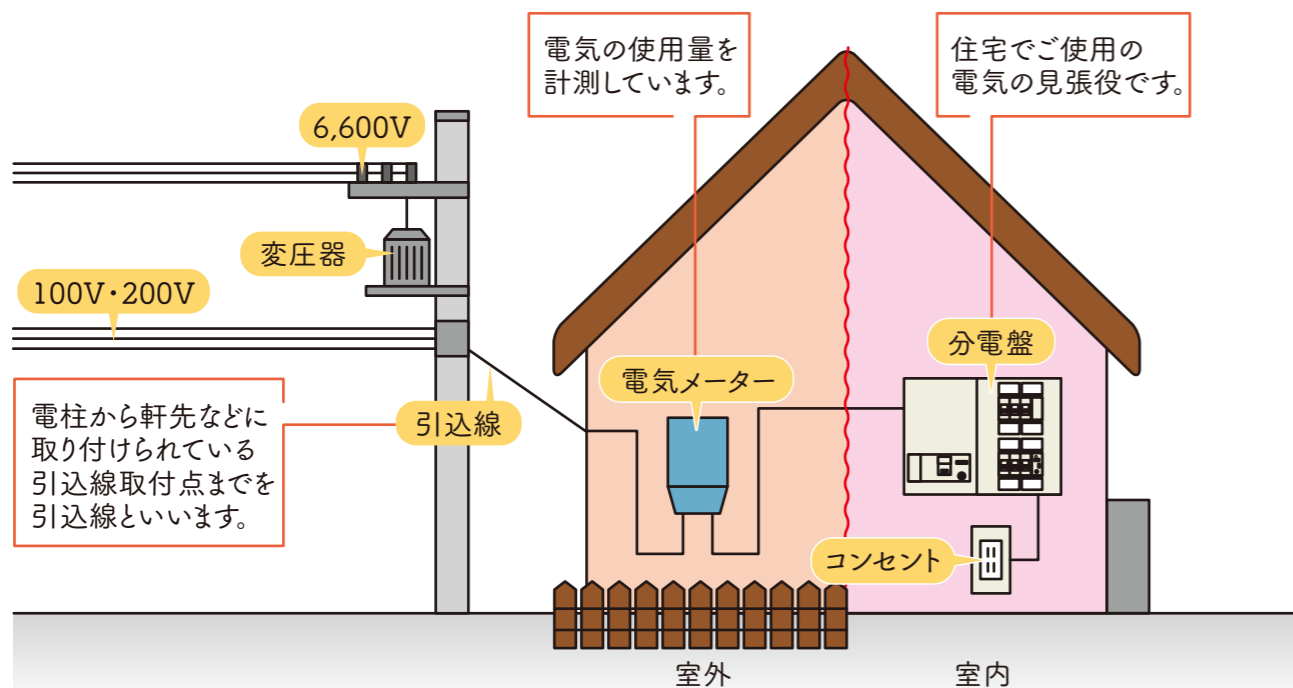
電気設備と確認

住宅には、電気を受けるための設備と
安全に電気を使うための安全装置が取り付けられています。

毎日使う電気だから、これらの役割を知って正しく使用することが大切です。

電気の流れ

電柱の一番上の線は通常高圧(6,600V)で送電されており、この線から変圧器を通りご家庭へ送られています。ぜひ一度、分電盤が家のどこにあるか、確認してみてください。



“

PSEマーク

電気用品による危険及び障害の発生の防止を目的とする電気用品安全法は、約450品目の電気用品を対象とし、製造、販売等を規制しています。

現在457品目指定されており、そのうち、特に安全上規制が必要な「特定電気用品」は116品目指定されています。

電気用品の製造または輸入を行う事業者は、電気用品を製造・輸入する場合、技術基準適合義務等を果たす必要があり、これらの義務を果たした証として、PSEマークを製品に付けることができます。

またPSEマークが付けられている電気用品でなければ、原則として、販売及び販売のための陳列を行うことが禁止されています。

電気製品を購入する際は、PSEマークが付いているか確認するようにしましょう。



”

分電盤の役割

分電盤は各部屋に電気を分配し、使いすぎやショート(短絡)、漏電で事故にならないよう、ご家庭で使う電気をチェックする大切な役割を担っています。

漏電表示

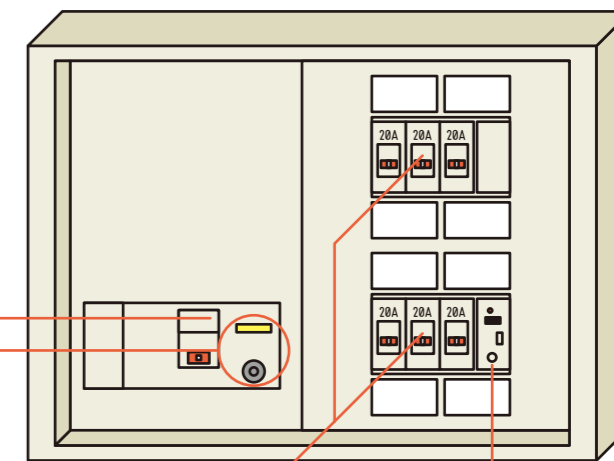
漏電が発生して、電気を止めた場合に表示部が白色から黄色に切り替わります。(ボタンがとび出すタイプもあります)

テストボタン

漏電ブレーカーが正しく動作するか、チェックするためのボタンです。テストの際には電気が消えますのでご注意ください。

漏電ブレーカー

配線や電気製品から電気が漏れたことを感知すると電気を自動的に止めます。漏電ブレーカーが動作すると、レバーが中間まで下がります。(製品によって異なる場合があります)



安全ブレーカー(配線用遮断器)

電気を使いすぎたときや、配線がショート(短絡)したとき、電気を自動的に止めます。

感震ブレーカー

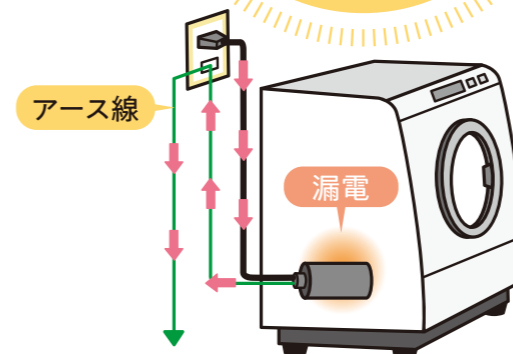
地震を感知すると、電気を自動的に止めます。(P.14参照)

アース線の役割

アース線は、漏電が発生した場合に、漏れた電気を地面に流し感電を防ぐための大切な役割を担っています。

アース線の取付けあり

漏電しても電気は人体を通らずアース線に流れ感電を防ぐことができます。



アース線の取付けなし

電気が人体に流れて危険です。



家で電気が消えたとき

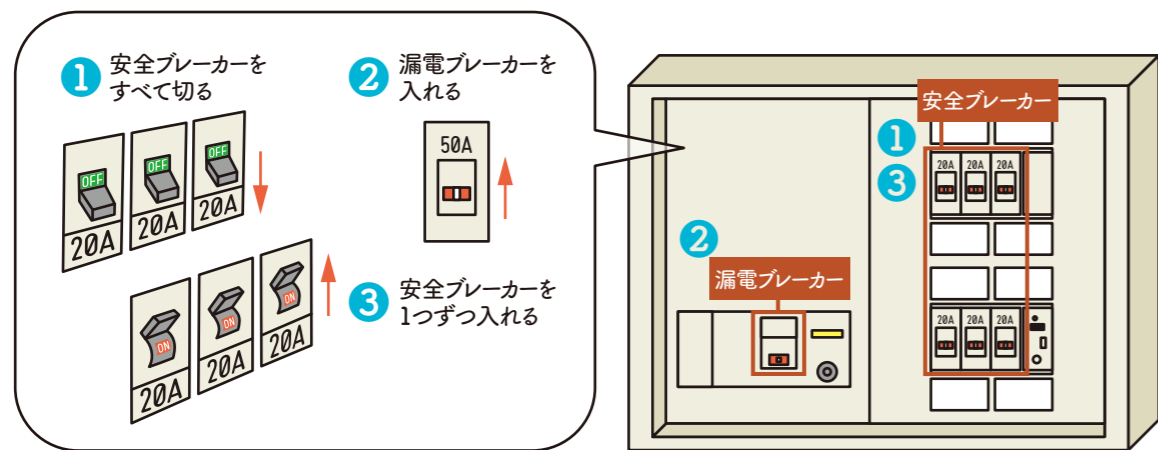
家の中の一部が消えている場合

多くの電気製品を同時に使用したため、過剰な電気が流れたこと(過電流)が考えられます。
また、電気製品等の不具合も考えられます。
分電盤の安全ブレーカーを確認してください。



家じゅうの電気が消えている場合

漏電が発生した可能性があります。漏電ブレーカーを確認してください。



ご近所も消えている場合

電力会社・送配電会社の設備による停電と思われます。
関西電力送配電にお問い合わせください。



詳しくは関西電気保安協会または関西電力送配電のホームページをご覧ください。

ksdh | 🔍 「電気の情報」→「電気の基礎知識」→「ご家庭で電気が消えたときは」



家の電気が消えたときの対処法

家の電気が消えたときはついつい慌ててしまいがちですが、まずは落ち着いて停電状況を確認しましょう。

停電時には、固定電話・IP電話は、一部を除き、基本的に利用できなくなります。万が一に備え、携帯電話等の代替手段をご用意ください。
また、予備電源(市販のバッテリーやUPS〔無停電電源装置〕)を備える方法もあります。

詳しくは
総務省
ホームページを
ご覧ください。

